

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会

会長 高野 淑 恵

〒343-0021 越谷市大林235-9

TEL・FAX 048-977-1908

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会

理事長 高野 淑 恵

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂

2-15-3 母子福祉会館内

TEL 048-833-0444

FAX 048-833-0400

発行日 令和3年6月30日

購読料 20円は会費に含む



『みんな同じ、大切な命……』 越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

平素よりご支援ご協力戴いております皆様、誠に厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスに罹患された皆様には一日も早く回復されますことをお祈り申し上げますと共に、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また医療従事者の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

さて、ようやくワクチン接種が始まりましたが、予約システムは相変わらず市町村に丸投げで、混乱が続いています。総理大臣が毎日のように棒読みで繰り返す「安心安全」とは何なのだろう？と安心安全を感じられない日々の中で首をかしげています。国民の命を最優先に護るのが国家ではないのでしょうか？「運動会は中止なのにオリンピックはなぜ中止じゃないんですか？」という小学生の質問に答えられない、「日本人には五輪中止という選択肢はない」とオリンピックで巨万の富を築いている五輪業者の外国人に反論の一つも言えない国家。有事の政治家はいないのでしょいか？

「命」より大切なものなどないはずです。具体策のない「安心安全」など誰が信じるのでしょうか。

コロナ禍で、家で過ごすことが多く

り、ペットショップで犬や猫を買う人が増えているそうです。コロナ禍が終息したあとも同じ気持ちで愛情をもって暮らしていけるのか、とても心配です。どの「命」も大切だからです。

先日、私は25年以上一緒に暮らしてきた猫を看取りました。ダンボールに入れて捨てられていた猫でした。カラスが突っついて見かねた知人が保護したのですが、その家にはそうやって保護した猫が既に7匹もいました。「もらって」と頼まれて私の家に来ましたが、カラスに突っつかれていたことがトラウマになったのか、警戒心が強く、触れようとすると容赦なく猫パUNCHが飛んできて、抱っこするどころか触れることもできませんでした。気が荒く意地悪な猫でしたが、なぜか息子だけは好きだったようで、よく息子と一緒に寝ていました。息子の胸の上に乘っかって寝ていることもありました。重度の知的障害がある息子は動物園に何度も連れて行きましたが、キリンにもカバにも興味を示さず、同様に水族館に行ってもイルカや珍魚には興味がなく、水槽のポンプから出てくるあぶくを見て異常に喜んでいまし

た。そんな息子とそんな猫の25年の生活でした。いなくなると、息子がどう思っているかは分かりませんが、私は家の中の一部のような存在であった猫がいなくなると、いなくなったことにまだ全然慣れることができません。ひょいとその辺から出てきそうな気がしますが、このドア閉めておかなきゃ、ごはんあげなきゃ、等々。もつやらないで良いことなのに……。人間なら百歳以上でした。突然老衰が進み、ガクツと体が弱まったとき、抱きあげても怒りませんでした。軽くなった体を抱きあげるたびに、(もつともつと抱っこしたかったんだよ)と猫に話しかけていました。家の中にはまだまだ、この子の気配が漂っています。

どんなに悲しくても生き物と共に暮らす以上、必ずお別れはあります。看取りは義務であり責任です。コロナ禍でお出かけ時間が減って退屈だから、という安易な気持ちで犬や猫を飼わないでください。飼うのなら、家族と同じ大切な命であること、その命を慈しむ優しさをお子さんたちの心に育んでください。愛する心と悼む心を育んでください。

私は今日も、フワフワの気配だけになったこの子に問いかけます。

(うちの子になって幸せだった?)と。

千草園だより

新緑の季節からあつと言つ間に初夏の季節となりました。埼玉県は緊急事態宣言から、まん延防止措置に変わりましたが日々の活動はまだまだ自粛です。そんな中でも元気に頑張っている千草園の皆さんの四月から六月までの活動をご紹介します。

入所式



四月二日(木)千草園にて入所式が行われました。久しぶりのセシモニーで皆さん緊張の面持ちで参加され、新しい仲間の入所をとて喜んでいました。緊張の入所式の後には、お菓子とお茶で乾杯しました。



春のBBQ



四月二十三日(金)に恒例の「春のバーベキュー」を行いました。今年も「inn千草園」となってしまうましたが、2グループに分かれてそれぞれ食材選びから話し合つてメニューを決めました。お好みのタレのご要望もあつたり、皆さんのバーベキューへの熱い思いがひしひしと伝わってきました。来年こそは、青空の下で行いたいですね。



5月の楽しみ会



五月二十八日(金)に5月のお楽しみ会を行いました。昼食はデニースのメニューをじつ

くり見て選んだお好みのメニューをテイクアウトです。ウィバーイーツならぬ千草イーツチームが出勤している間に室内装飾チームは飾りつけを、午後のティータイムを盛り上げるお菓子作りはパティシエチームが、それぞれチームに分かれて準備をしました。美味しいランチの後は、ドライブグループ、カラオケグループに分かれて楽しみました。ティータイムでは出来立てのチョコカップケーキです。皆さん美味しく召し上がっていました。

6月の楽しみ会



六月二十五日(金)に6月お楽しみ会を行いました。昨年から外出行事が無くなり、千草園の仲間と一緒に外食が出来ない状況です。千草園で外食気分をと、いう事で6月は初の中華



(バーミヤン)です。種類もOKという事で皆さんメニュー選びからワクワクでした。美味しく頂いた後は、ドライブ、カラオケグループに分かれて楽しみ、午後のティータイムはお茶とお菓子でのんびりしました。(西間庭)

新入所者紹介



中村 大輝 ひろき さん
平成十一年 四月十七日生

これから、仲良く一緒に頑張っていきたいと思います。

野の花だより



【お楽しみ会】

四月十六日(金)のお楽しみ会は、カード取りゲームやボウリングのレクリエーション班と健康のための散歩班に分かれ、午前・午後で交替して楽しんで頂きました。昼食は利用者さん自身で選んだお弁当を食べ、おやつには景品のお菓子やジュースで満面の笑みが見られました。



【通所日】

四月二十九日(木)は、調理実習で、けんちんうどんを作りました。上手に具材をカットし、一つ一つ丁寧に調理をして、けんちんうどんが出来上がりました。みんなと一緒に作ったうどんは美味しかったです。



【通所日】

五月八日(土)は、みんなの大好きな酢豚を作りました。野菜を切ったり、肉を炒めたりと、皆さんの笑顔に囲まれ、楽しい空気の中で、美味しい酢豚が出来上がりました。



【お楽しみ会】

五月十四日(金)は、チーム対抗で、玉入れと卓球バレーを行いました。

いました。玉入れゲームでは、一つでも多く入れてやる！とばかりに、時間切れにも気づかず、ボールを投げ続ける利用者さんもいて、大いに盛り上がりました。



【野の花運動会】

六月四日(金)は、野の花で運動会を開催しました。障害物競走やパン食い競争など、いくつかの競技をチームで競い合いました。運動の疲れからか、眠そうにしている利用者さんも居ましたが、ほっともとの美味しいお弁当を食べて、すっかり元気を取り戻していました。外はあいにくの雨でしたが、とても楽しい一日でした。



【レクリエーション】

外に出れない日でも楽しめるよう、職員自作のゲゴゲコパニックやおやつにピザを作ったりして、楽しく過ごしました。



これからも、利用者さんが楽しめるような企画を考えていきたいと思えます。

(山田)

会計報告

《 売上金 》

- ・わかめ 3,000円
- ・ごま 6,300円
- ・お茶 2,160円

ご支援ありがとうございます



千草園クッキーご購入

ありがとうございます



熱中症にご注意



小林 公 弘 様

小島 佐由裡 様



◇◇ 編集後記 ◇◇

「安全・安心」どころか「危険・不安」なオリンピックが開催されてしまいます。頼みの綱のワクチンも国民の1割しか接種していません。もちろん、私たちの施設の利用者さんも打った方はひとりもいません。命の重さとは、民意とは何かを改めて考えさせられます。

観客数は1万人だ、5千人だ、無観客だと揉めているようですが、「オリンピックより孫たちの運動会が見たかった」おばあちゃんである私の本音です。(猪鼻 孝子)